



平成28年3月29日
総合政策局情報政策課
自動車局旅客課

ビッグデータを活用した

地方路線バス事業の経営革新ビジネスモデルの策定について ～路線バスの経営安定と持続可能な路線ネットワークの再構築に向けて～

国土交通省では、BRTの導入やバス路線の再編を行った新潟市・新潟交通（株）を対象にモデル事業を実施し、路線バス事業者等が導入可能な地方路線バス事業の経営革新ビジネスモデル実施マニュアルをとりまとめました。今後、実施マニュアルを基に地方路線バス事業の経営革新ビジネスモデルの普及に努めます。

<調査概要>

人口の減少や少子高齢化が加速度的に進展することにより、特に地方において、路線バス事業の経営状況が悪化しており、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の一層の低下が懸念されています。

このような状況を克服し、路線バス事業経営の安定と持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、路線バス事業者等が導入可能な、地方路線バス事業の経営革新ビジネスモデルを策定しました。

<地方路線バス事業の経営革新ビジネスモデル概要(別紙参照)>

- ビッグデータ等交通関連データに基づく分析評価
- 「望ましい公共交通網のすがた」、「潜在需要の獲得と需給バランスに応じた路線の見直し」、「顧客獲得に向けたサービス品質の向上」、「収支バランスに応じたバス路線の見直し」の4つの側面から公共交通網を分析評価
- 分析評価に基づく、総合的な改善策と数値目標の設定

地方路線バス事業の経営革新ビジネスモデル実施マニュアルは、国土交通省ホームページをご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/jouhouka/sosei_jouhouka_fr1_000014.html

【問い合わせ先】

総合政策局情報政策課

渡田（28201）、高橋（28211）、吉田（28212）

TEL：03-5253-8111、直通：03-5253-8334、FAX：03-5253-1564

自動車局旅客課

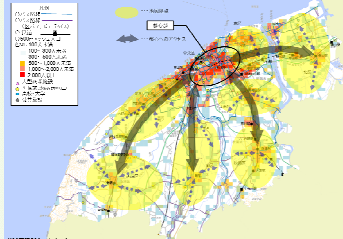
小林（41203）、石嶋（41232）、藤澤（41233）

TEL：03-5253-8111、直通：03-5253-8571、FAX：03-5253-1636

地方路線バス事業の経営革新ビジネスモデルの概要

①分析と評価(データの活用)

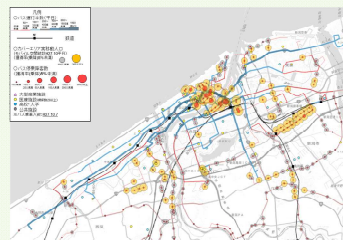
望ましい公共交通網のすがた



- ・長大路線の解消
- ・フィーダー化
- ・速達性、定時性の向上

ネットワークのあり方の検討のため、データの見える化により、網羅的に公共交通網を分析評価

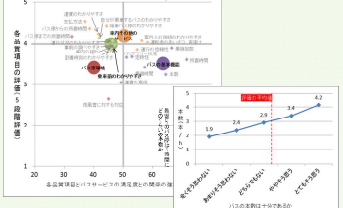
潜在需要の獲得と需給バランスに応じた路線の見直し



- ・供給不足な箇所は、増便(3本/時間以上を目安)
- ・増便による利便性の向上
- ・供給過剰な箇所は、減便

移動需要を推計しサービス供給量とのバランスを分析評価

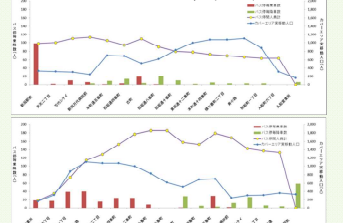
顧客獲得に向けたサービス品質の向上



- ・優先的に所要時間、乗り継ぎ回数、本数等を改善
- ・非利用者の取り込みは、事前の調べやすさ、運行状況のわかりやすさ等を改善

優先的に改善すべきサービス品質の明確化

収支バランスに応じた路線の見直し



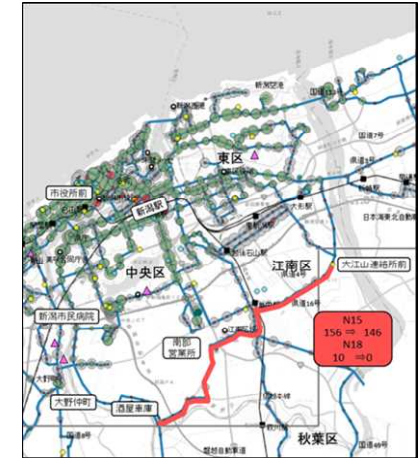
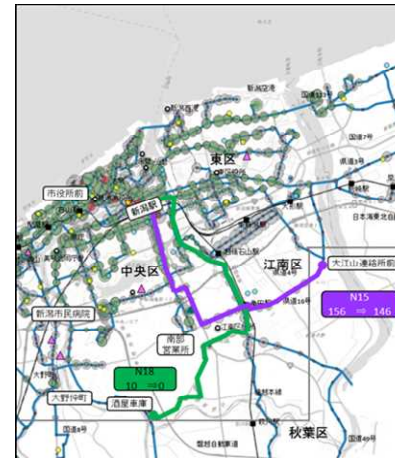
- ・路線、バス停、便毎の乗降客数に応じた路線、ダイヤの最適化

収支バランスが悪い要因を移動需要、利用者数の見える化による分析評価

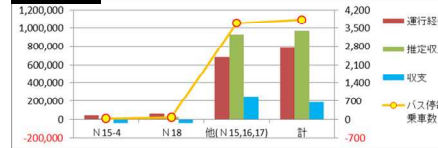
②改善策の方向性

③総合的な改善策

長大路線の解消、フィーダー化、速達性、定時性の向上【一例】



改善前



改善後



④数値目標の設定

指標	目標	備考(内訳等)
7対7アウト	運行本数	新規フィーダー路線 22 本 N15-4 廃止 (10 本減) N18 廃止 (10 本減) 亀田駅～大江山連絡所 (10 本新設) 亀田駅～酒屋車庫 (12 本新設) その他現状維持 N15 (N15-1, 2, 3, 5)、N16、N17 は現状維持 (226 本)
	営業キロ	150km 削減
7対8	速達性	10 分短縮 ・ 亀田駅で鉄道乗り換えにより亀田駅前～新潟駅間の所要時間 20 分短縮、乗り継ぎ時間 10 分を差し引き 10 分短縮
	定時性	遅れ解消 ・ 亀田駅前～新潟駅前間の道路混雑による遅れ 4 分の解消
	乗客数	3,898 人 (65 人増) 廃止路線 (N15-4、N18) の乗客ゼロ (131 人減) 新規フィーダー: 106 人 ・ 大江山連絡所前～亀田下町間、酒屋車庫～亀田下町間の獲得率 8.9% 目標達成 N15-2: 846 人 (38 人増) ・ N15-4 の利用者のうち亀田～新潟駅南口間の利用者 38 人が転換 N17: 456 人 (52 人増) ・ N18 の利用者のうち亀田～新潟駅前間の利用者 52 人が転換
	運賃収入	979,336 円 (8,384 円増)
	運行経費	728,678 円 (60,508 円減)
	収支	250,658 円 (88,892 円増)